

平成28年11月11日

## 平成28年12月期 第3四半期連結業績 補足資料

(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

井関農機株式会社

### 1. 連結第3四半期損益

(億円、%)

	27/12期 第3四半期 調整後ベース※1	28/12期 第3四半期 実績	前年同期比増減 (調整後ベース)		28/12期 通期業績予想 8月10日公表
			金額	率	
売上高	1,177	1,184	+7	+0.6	1,615
国内	930	919	△11	△1.2	1,278
海外	247	265	+18	+7.4	337
売上総利益	347	346	△1	△0.3	—
粗利率	29.5%	29.2%	△0.3%	—	—
販管費	336	318	△18	△5.2	—
営業利益	11	28	+17	+151.0	35
金融収支	△5	△5	0	—	—
他営業外	3	△7	△10	—	—
経常利益	9	16	+7	+82.0	32
特別利益	4	12	+8	—	—
特別損失	△6	△13	△7	—	—
税前三半期純利益	7	15	+8	+100.5	32
税、税調整額他		△8	—	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益		7	—	—	19

(売上内訳)

(億円、%)

	27/12期 第3四半期 調整後ベース※1	28/12期 第3四半期 実績	前年同期比 (調整後ベース) 増減	28/12期 通期業績予想 8月10日公表
作業機	138	149	+11	187
補修用部品	105	109	+4	144
修理収入	36	39	+3	53
農機関連計	726	727	+1	1,004
施設工事	46	43	△3	70
その他農業関連	158	149	△9	204
国内計	930	919	△11	1,278
北米	96	94	△2	119
欧州	93	75	△18	98
中国	10	24	+14	37
アセアン	10	25	+15	33
その他	14	16	+2	21
製品計	223	234	+11	308
補修用部品	17	15	△2	25
その他	7	16	+9	4
海外計	247	265	+18	337
売上高計	1,177	1,184	+7	1,615

※1 「27/12期第3四半期調整後ベース」は、28/12期と比較するため対象期間を同期間に調整しております。詳しくはP4<ご参考資料>をご覧ください。

## 1) 売上高

- 売上高 1,184億円（前年同期比+7億円、+0.6%）

- 国内売上高 919億円（前年同期比△11億円、△1.2%）

当第3四半期は、農機需要の回復が鈍く、農機製品で△17億円となったものの、作業機、部品、修理収入を含めた農機関連全体では+1億円。施設工事△3億円。その他農業関連△9億円。国内売上高全体で△11億円。

- 海外売上高 265億円（前年同期比+18億円、+7.4%）

北米市場は、コンパクトトラクタが伸びたものの、ユーティリティトラクタの減少や為替円高影響等により△2億円。欧州市場は、天候不順の影響や為替円高影響などから芝刈機を中心に△18億円。中国市場は、田植機半製品の出荷増や今年度から本格販売したトラクタ半製品の出荷増により+14億円。アセアンは、インドネシアやタイ向けトラクタの出荷増で+15億円。なお、為替円高による影響は海外売上高全体で△19億円。

## 2) 営業利益・経常利益

- 営業利益 28億円（前年同期比+17億円、+151.0%）

増収効果は為替円高影響等で減殺され、売上総利益では減益になったものの、ローコストオペレーションの徹底による大幅な経費の圧縮や人件費の削減で、+17億円。

- 経常利益 16億円（前年同期比+7億円、+82.0%）

為替差損の計上及び中国の関連会社にかかる持分法投資損益の悪化（為替差損計上や開発費負担の増加）等により、営業利益の増益幅が圧縮され+7億円。

## 3) 税前利益・四半期純利益

- 税前利益 15億円（前年同期比+8億円、+100.5%）

熊本地震に伴う災害損失11億円の特別損失計上があったものの、有価証券売却益11億円の特別利益計上等により+8億円。

- 四半期純利益 7億円

## 2. 平成28年12月期 業績予想の修正

平成28年8月10日に公表しました平成28年12月期通期業績予想に対し、第3四半期累計期間の連結業績実績及び最近の受注状況や為替動向等を踏まえ、下記の通り修正いたしました。なお、配当予想につきましては修正しておりません。

- 1) 売上高 △60億円（国内 △43億円、海外 △17億円）
  - ・ 国内売上高は、農機製品及び施工工事の売上減少等を織込み△43億円。
  - ・ 海外売上高は、為替円高による影響に加え、北米OEM先との取引条件一部変更に伴い売上の一部が来期にずれ込むことや中国向け田植機半製品の出荷時期ずれ等により前回予想を下回る見込みであることから△17億円。
- 2) 営業利益 △7億円 経常利益 △12億円
  - ・ 営業利益は、ローコストオペレーションの徹底による経費の圧縮や人件費の削減を図るものの、売上高減少による売上総利益の減少を織込み△7億円。
  - ・ 経常利益は、営業利益の減額修正に加え、持分法投資損益の悪化等を織込み、△12億円。

### 【平成28年12月期通期連結業績予想】

（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

（億円）

	27/12期通期 調整後ベース※2	前回業績予想 (8月10日公表)	今回業績予想 (11月11日公表)	前期比 増減	前回予想 比増減
売上高	1,568	1,615	1,555	△13	△60
国内	1,254	1,278	1,235	△19	△43
海外	314	337	320	+6	△17
営業利益	2	35	28	+26	△7
経常利益	4	32	20	+16	△12
親会社株主に帰属する 当期純利益		19	7		△12

\* 通期平均為替レートは、対米ドル109円、対ユーロ121円を見込んでおります。  
（第4四半期想定為替レートは、対米ドル105円、対ユーロ115円(変更なし)）

### 【平成28年12月期期末配当予想】

1株当たり1.5円～3円の期末配当を予定しております。

※2 「27/12期調整後ベース」は、28/12期と比較するため対象期間を同期間に調整しております。詳しくは<ご参考資料>をご覧ください。

以上

<ご参考資料>

前期実績との業績比較について（平成27年12月期調整後ベースとの比較）

- ・ 当社は、平成27年度より決算期（事業年度の末日）を3月31日から12月31日に変更いたしました。経過期間の平成27年12月期は9ヶ月の変則決算となっていることから、業績比較については財務報告の対象期間を平成28年12月期と同期間とした調整後ベース実績を使用しております。  
なお、フランスの子会社のみ9月末決算となっております（第3四半期では、10～6月を計上）。

1. 第3四半期実績の業績比較

■調整後ベース

- ・ 平成27年12月期：旧3月決算会社：1～9月、12月決算会社：1～9月
- ・ 平成28年12月期：旧3月決算会社：1～9月、12月決算会社：1～9月

	平成27年12月期				平成28年12月期			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
a. 旧3月決算会社 井関農機 他								
b. 12月決算会社 国内販売会社 他								

2. 通期業績予想における調整後ベースについて

■財務報告ベース

- ・ 通 期：旧3月決算会社：4～12月、12月決算会社：1～12月

■調整後ベース

- ・ 通 期：旧3月決算会社：1～12月、12月決算会社：1～12月

以上